

シンガポールアンテナショップ及び EC での販路開拓について

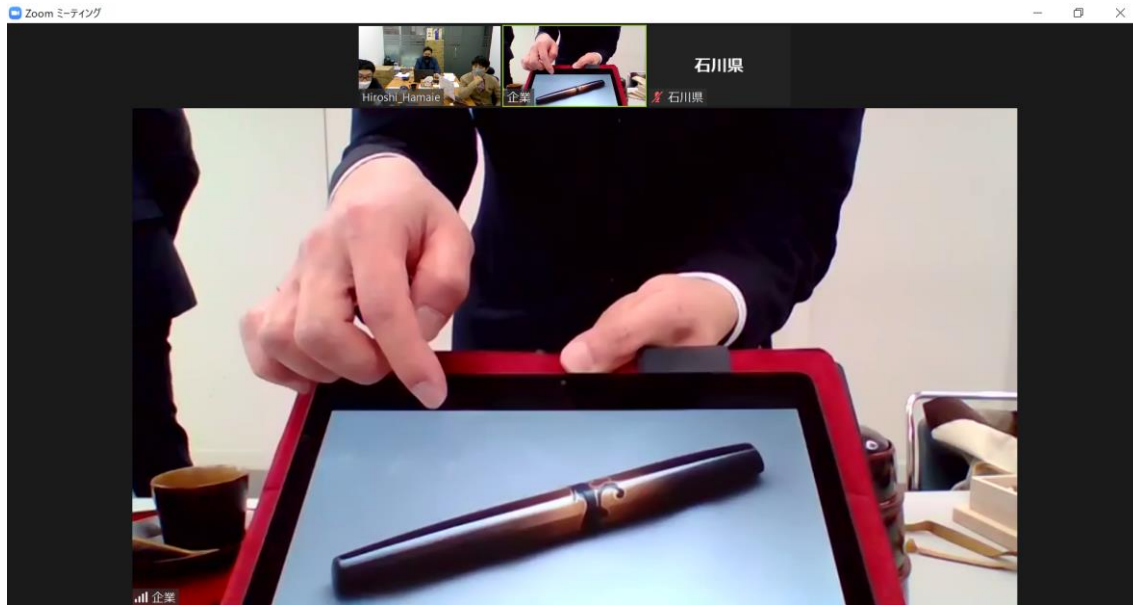
シンガポールアンテナショップ及び EC サイトでの販売商品について

当事務所ではこれまでも、巨大な商業施設が多数立地するオーチャードロードの中心に位置するタカシマヤショッピングセンター内の特設スペースに石川県アンテナショップを開設するとともに、シンガポール大手 EC サイトでの販売を通じて、石川県産品のテストマーケティングを実施するほか、販売商品をシンガポール百貨店や小売店に提案・採用されるなど、県産品の販路開拓を支援してきました。

その成果もあり、昨年、ローカルのお客様から「今年の石川県ショップは何月に開設するの？」と問い合わせがあるなど、毎年継続して商品販売することで、徐々に石川ファンが増えてきていると肌で感じています。こうした中、4年目となる今年度はシンガポールアンテナショップ設置期間を4ヶ月から6ヶ月に拡大し、より多くのお客様に石川県産品を紹介したいと考えております。

既に、先般アンテナショップ・EC サイトで販売する商品の公募を行い、新規でお申し込みいただきました企業様とシンガポール側の商社を交えオンラインで打ち合わせを行いました。この打ち合わせでは、石川県企業側から商品の特徴や国内での売れ行き、生産体制・在庫状況などの説明をいただき、シンガポール商社と当地での趣向や方向性について直接会話しながら販売商品を決定したところです。こうしたコミュニケーションをとりながら、実際の作り手の思いを共有することで、販売する際の丁寧な説明やより良い POP 作成につながっています。

丹精込めて作られている石川県産品を今年度も引き続きシンガポールに PR して参りたいと思います。



シンガポール商社とのオンライン打ち合わせの様子

シンガポール旅行会社と連携した石川県の日本酒ウェビナー及び販売会について

以前、当紙面で、シンガポールの旅行会社が、渡航ができない代わりに、これまで顧客向けにツアーを組んだ地域を中心とした特産品などの日本製品の紹介・販売を行なうことで、旅行に行けないながらも日本を感じていただく工夫を行いながら渡航再開時に向けて、日本への旅行の機運の醸成を図っていることを紹介し、また当旅行会社に対して、先方からご希望をいただいた銘柄酒を試飲いただき、顧客への紹介商品として採用いただいた旨ご報告したところです。

こうした中、先般、この旅行会社のお客様を対象とした「石川県の観光&日本酒オンラインセミナー」が開催され、日本への旅行再開を待ち望むウェビナー参加者に対して、旅行会社から石川県の観光名所や魅力を、実体験をもとに紹介した他、日本酒の説明コーナーではIWCSAKE部門の審査員を務めている方を講師として、日本酒の種類を視覚的にわかりやすく説明するとともに、豊富な知識や数多くの日本酒を審査してきた審査員の味覚による感想を参加者に直に伝えました。経験に勝るものはなく、臨場感あふれる説明により参加者の旅行意欲はさらに喚起され、さらには多くの参加者に今回ウェビナーで紹介した三本の日本酒をご購入いただくことができました。こ

うしたウェビナーを通じて、旅行が容易にできるようになった時に石川県に来ていただけるお客様を増やしていくことが重要と考えており、引き続き機会を作って石川県のPRを行なってまいりたいと考えております。

Ishikawa Sake



Carlin kumada

Classifications of sake

- No Added Alcohol
- Polish is 60%
- Could technically be called Junmai Ginyo




Carlin kumada

By the ocean on the peninsula Where seafood is plentiful

Near the ocean and mountains but in larger city leading to newer styles

In the mountains meaning traditionally more preserved foods, meat and mountain vegetables



Carlin kumada

Classifications of sake

- No Added Alcohol
- Polish is 50%




Carlin kumada



Wakura Onsen

Kanazawa

Toyama City

Kaga Onsen

Awara Onsen

Shirakawago

Takayama

Carlin kumada



Matsu no Midori



Matsu no Midori

Carlin kumada

渡航制限の緩和に向けて

すこし余談となってしまいますが、オフィス近くの文具店に行った際のことです。普段、電話片手に早口の中国語で話しているイメージで一見日本人の客には興味がなさそうな店舗スタッフから突然話しかけられ、何を言われるのか構えていると、「いつになったら日本に旅行に行けるのか？コロナ以前は毎年2回は日本に旅行していた。食事も美味しく、季節（桜や紅葉、雪）がある日本に早く旅行に行きたい。日本への旅行が再開されたらシンガポリアンの半分は日本旅行の計画をすと思う！！」と日本人として嬉しいコメントをいただきました。まだ石川県には行ったことがないとのことでしたので、石川の食や観光名所も合わせてPRしました。またその店舗スタッフは「友人ともいつ日本に旅行ができるようになるか、期待と憶測混じりの会話をしている」とニコニコ話していました。

これまで2年以上、短期渡航制限が行われてきましたが、東南アジア諸国でも徐々に制限緩和（手続きの緩和も含む）が行なわれてきており、こうした旅行再開・拡大への期待も高まってきている一方で、再開の判断は、経済と安全の両方に配慮した非常に難しいものと承知しています。コロナ感染者が減って、リスクが下がり、安全な渡航ができる日が早く来ることを願っています。